

令和 7 年度第 1 回企画展

宮代町 70 年のあゆみ

令和 7 年 7 月 12 日 (土) ~ 10 月 19 日 (日)



宮代町郷土資料館



ごあいさつ

昭和 30 年 7 月 20 日、百間村と須賀村が合併して宮代町が誕生しました。終戦後 10 年が経過した年でもあり、世の中は戦後の復興を経て高度経済成長期を迎えようとしていました。社会が大きく変化していく流れの中で、住民の皆様の助力をいただきながら、「宮代町」というまちづくりが進められてきました。

本年、宮代町は町制施行 70 周年を迎えました。70 年の間には、社会情勢や生活環境をはじめとする様々なものが変化しましたが、それらに敏感に反応し、柔軟に対応しながら、今の宮代町が形成されてきています。

今回のこの展示では、宮代町がどのように歩み、変化してきたのかを紹介しています。そこには、宮代らしさを求めた先人の姿があり、未来の宮代町へどのように向かうべきなのかを考えた、先人から贈られたメッセージが込められています。

この展示を通して、本町の過去の歴史を改めて振り返り、皆様と共に来たるべき将来に思いを馳せるきっかけとしていただければ幸いです。

— 凡例 —

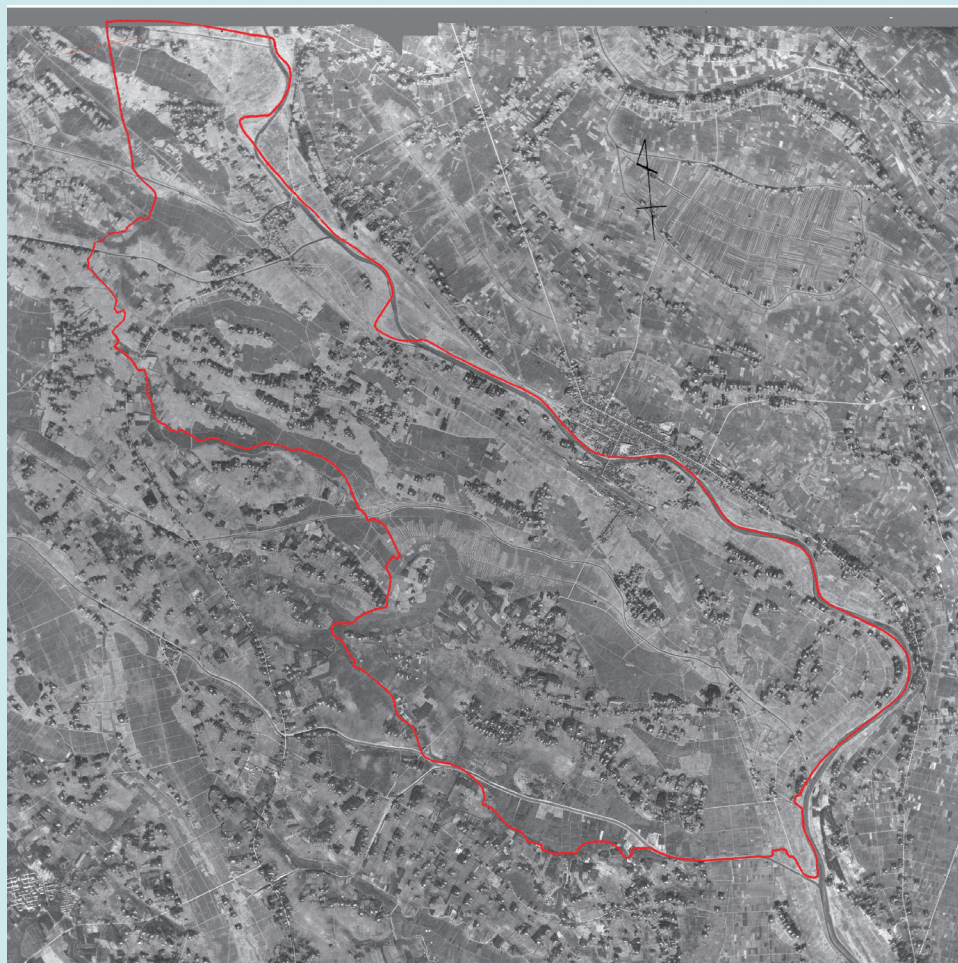
1. 本書は、令和 7 年 7 月 12 日（土）から 10 月 19 日（日）まで開催される、宮代町郷土資料館令和 7 年度第 1 回企画展「宮代町 70 年のあゆみ」の展示図録です。
2. 展示開催期間中の休館日は次の通りです。
7 月 14・22・28 日、8 月 4・12・18・25 日、
9 月 1・8・16・22・30 日、10 月 1～3・6・14 日
3. 展示の企画及びポスター・図録の執筆、編集、デザイン等は、当館学芸員 横内美穂が担当しました。
4. この展示のほかに、**平成 17 年度特別展図録「宮代町 50 年のあゆみ」**と、**平成 27 年度企画展「宮代町 60 年のあゆみ」**をご参照ください
5. 会場および本文中の敬称は省略させていただきました。
6. 資料提供・協力者一覧（五十音順・敬称略）
折原静佑・小島雅郎・渋谷康・島村正次・藤林泰

＊宮代町誕生前史＊

昭和 21 年 11 月 3 日に公布され、翌年 5 月 3 日に施行された新しい憲法のもとで、地方自治法が制定されました。それまで国が担ってきた教育や福祉などの多くの事務が、地方自治体に引き継がれました。増大する事務や地方自治の確立という大きな課題に対応するため、昭和 28 年に「町村合併促進法」が施行され、学校教育法（昭和 22 年）によって、地方自治体が担うこととなった新制中学校が合理的に運営できる人口規模を念頭に、人口 8,000 人を標準とした市町村合併が進められました。

昭和 29 年 2 月に埼玉県が市町村合併の試案を発表し、町域ではこの試案に基づいた 1 町 6 村（杉戸町・百間村・須賀村・高野村・八代村・田宮村・堤郷村）での合併協議が進められましたが合意に至らず、昭和 30 年 5 月に百間村・須賀村 2 村での合併協議が始まり、7 月 20 日に宮代町が誕生しました。

当時の人口は 10,744 人、世帯数は 1,887 戸で、総戸数の 40%が専業農家でした。町名については公募がおこなわれ、百間村では宮代・笠原・宮戸・隅田・古川、須賀村では新生・宮代・古川・宮戸・浦里と、それぞれ 5 つの候補に絞られたのち、合併協議委員による無記名投票によって「宮代町」と決定しました。なお、「宮代」の名は、百間村の総鎮守である「姫宮神社」の「宮」と、須賀村の総鎮守「身代神社」の「代」とを合わせてつけられました。

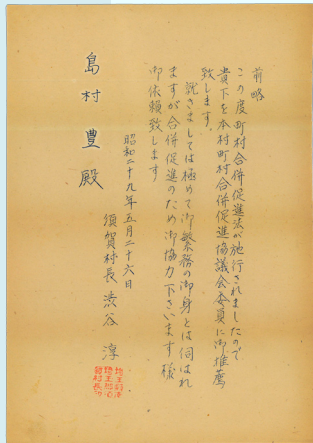


国土地理院空中写真データ（昭和 22 年）に町域を赤線で表示

8. 須賀村町村合併推進協議会委員に推薦の件につき

島村 (正) 家文書

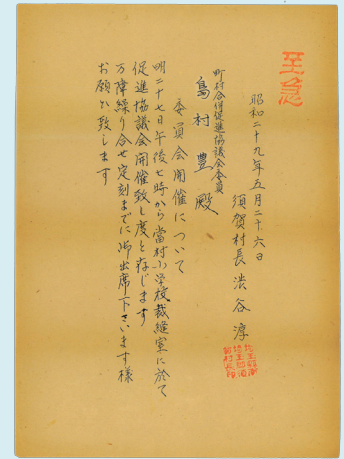
昭和 29 年 (1954) 5 月 26 日



9. 委員会開催について

島村 (正) 家文書

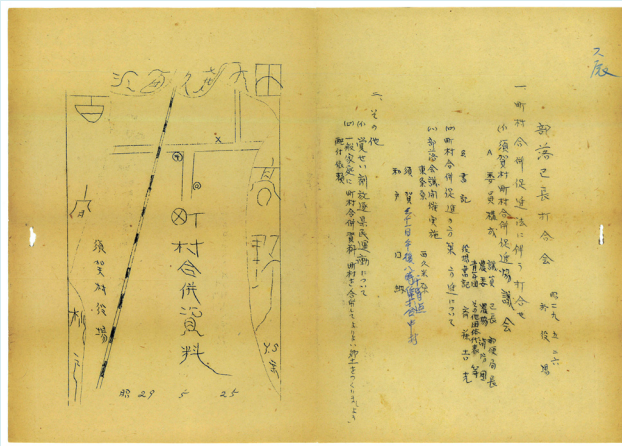
昭和 29 年 (1954) 5 月 26 日



10. 部落区長打合会 (町村合併資料)

島村 (正) 家文書

昭和 29 年 (1954) 5 月 26 日



10. と 12. 両方の資料から、昭和 29 年 5 月から 9 月の段階では、県の試案に従った合併案について協議が進んでいたことがうかがえます。

しかし、13. の資料にある昭和 30 年 5 月になると、百間村・須賀村の 2 村での合併協議にかわったことがわかります。

百間村古川區一町六ヶ村合併促進有志

九月十日

百間村の皆さん、私共古川區の者が、日頃何かと御世話になつておりますことを心から感謝申し上げます。
現在、全關各町村で促進されている町村合併については、皆様方もいろいろ御心配されておられること、存じますが、御承知のように県試案に基づき一町六ヶ村合併というのは百間村、須賀村、杉戸町、高野村、八代村、田宮村、堤郷村を指すのでありまして、間々、杉戸町が中心にあるたやもすると杉戸町へ周辺の村が吸収されるかのようにならるゝ、傳へられております。これは大きな誤りであつて、随くまで現在の町村をなくしてみんなが對等の立場で一語になり、そして新しい町を通り、みんなの責任と義務を共に担いで行くのが今度の合併の行方です。私共の住む百間村、特に古川區の者として、このことについては、みんなで懇談等を聞いていろく相談して来たのでありますが、古川區の住民としては、県試案に基づく一町六ヶ村の合併こそ是非希望するといふことになりました。そこで私達としても、この古川區住民の意志を村當局へ申達すると共に、その希望に合うよう努力してもらいたい旨を再三お願いして来たのでありますが、今日聞その実現をみることは出来ないのは、誠に心外に堪へないのであります。
私達の住む百間村！それは自治團體でありますから、あらゆる行政に住民の意志を反映させると共に、住民の意志を尊重していくのが當然ではないでしょうか。
私達は高野村として百年の歴史を考へ、大層のもつ須賀、百間の二ヶ村合併という小さい規模より大い一町六ヶ村の合併こそ、我々の幸福を圖るものであることを信じ、互いに手を取り合つて希望百間の日までに斷固促進する決意であります。
百間村の皆さん！私達の意見を聞き、その実現を促して一町六ヶ村への合併促進に皆様の御協力をお願い致します。

12. 一町六ヶ村合併促進趣意書

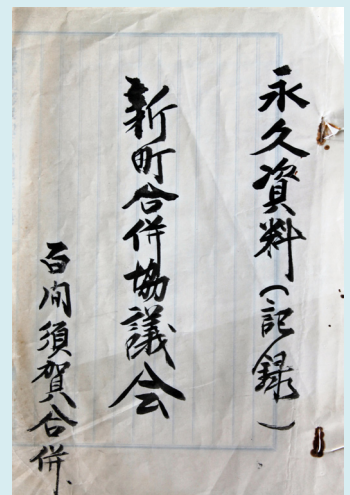
折原 (静) 家文書

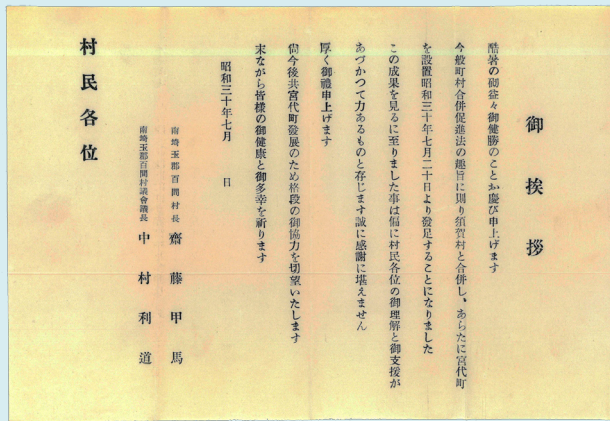
(昭和 29 年) (1954) 9 月 10 日

13. 永久資料 新町合併協議会 百間須賀合併

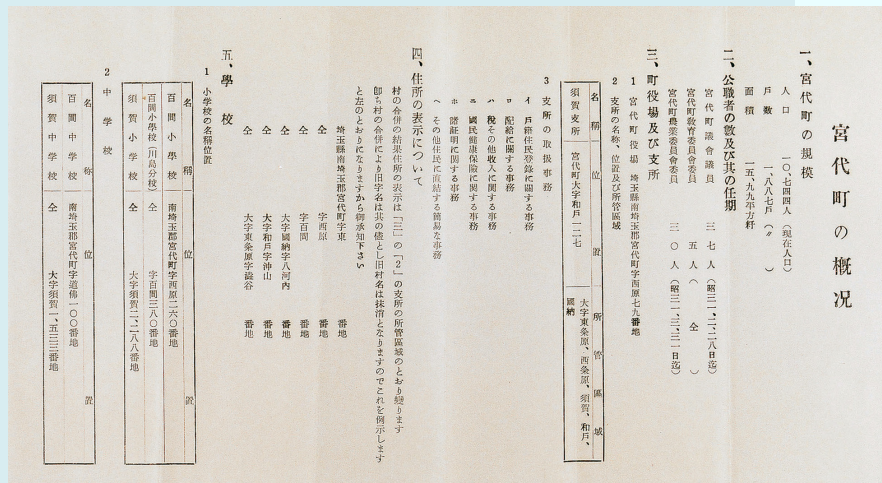
宮代町行政文書

昭和 30 年 (1955) 5 月 16 日





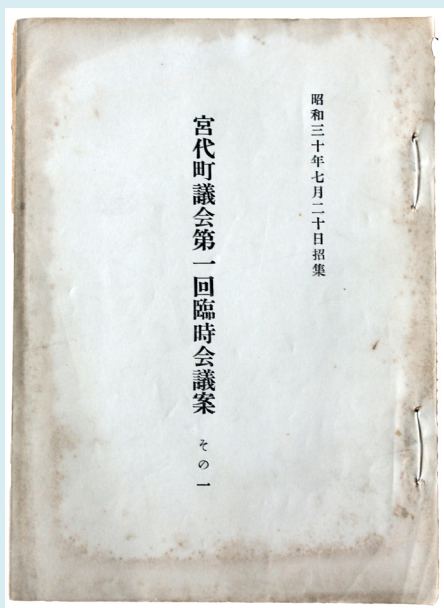
15. 挨拶状 (須賀村との合併)
折原 (静) 家文書
昭和 30 年 (1955) 7 月



16. 宮代町の概況
折原 (静) 家文書
昭和 30 年 (1955) 7 月 20 日

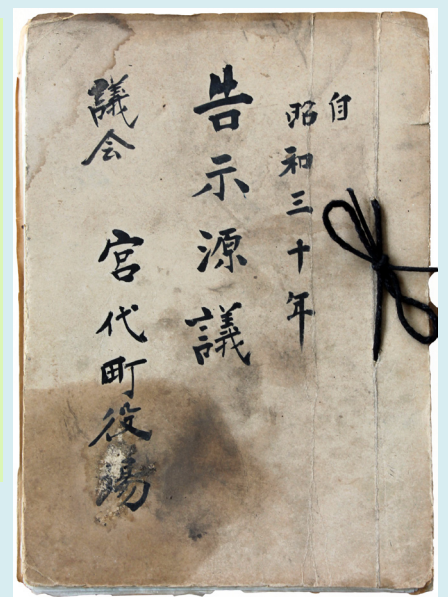


17. 宮代町合併記念 盃
民具登録
昭和 30 年 (1954) 7 月



18. 昭和 30 年 7 月 20 日召集 宮代町議会第 1 回臨時会議案
宮代町行政文書
昭和 30 年 (1955) 7 月 20 日

昭和 30 年 7 月 20 日、宮代町の誕生と共に『臨時議会が招集されました。議員は両村の議員がこれにあたり、任期を昭和 30 年 11 月 30 日まで 5 か月間延長すると、合併協議の中で決定されていました。』



19. 自昭和三十年 告示原義 議会
宮代町行政文書
昭和 30 年 (1955) 7 月

町づくりの基礎づくり

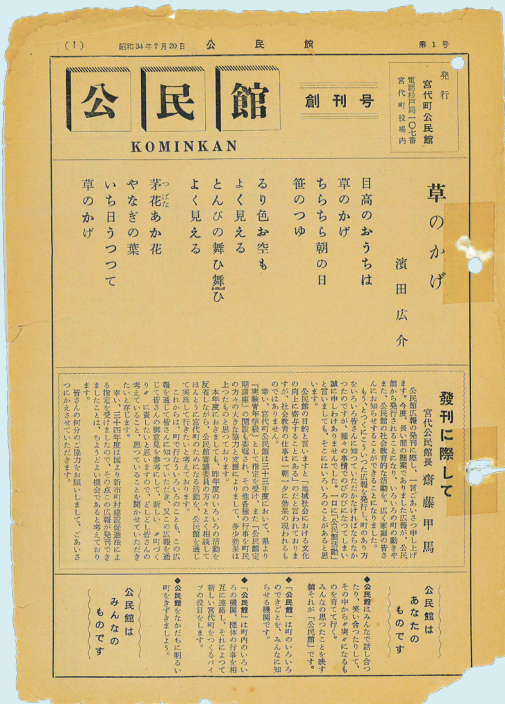
合併直後の宮代町は、杉戸駅（現 東武動物公園駅）を中心に人口集中地域がありましたが、基本的には伝統的な農村地帯が大部分でした。しかしながら、町を縦断する東武鉄道によって、東京までの所要時間 1 時間という交通の利便性から、人口の増加や戸数の増加など、都市化とそれに伴う設備や制度の必要性が高まりつつありました。

こうした中、昭和 35 年度から 44 年度の 10 年間を一区切りに、「宮代町新町建設計画基本計画」が策定され、住民所得の増加や生活水準の引き上げを目標として、産業の振興、道路交通の整備、教育文化の向上が図られました。

昭和 35 年には、鉄筋コンクリート 2 階建ての新庁舎が完成、翌年には上水道の供給が開始され、昭和 37 年には、し尿処理場が完成しました。

「新町建設計画基本計画」は昭和 44 年度までをその対象としていましたが、同 45 年度以降も理念を引き継ぐ形で町づくりが続けられました。都市化を進めていくための居住環境整備が進められ、3 つの大きな住宅団地が開発されるなどして人口が増加しました。昭和 55 年には 29,537 人と、町が誕生したころと比べ約 3 倍に増えています。

保育園や公民館、小中学校においては校舎や体育館・プールなどが新設され、教育環境が整えられました。町民体育祭（昭和 48 年～令和 3 年）、町民文化祭（昭和 54 年～令和 4 年）、町民まつり（昭和 59 年）といった、住民主体の大きなイベントが始められたのもこの時期でした。



21. 「公民館」創刊号

広報みやしろ第 001 号

昭和 34 年（1959）7 月

齋藤甲馬町長のあいさつ文では、「公民館」の目的を「地域社会における文化の向上に寄与すること」としています。「社会教育の仕事の効果は一朝一夕に現れるものではない」としながらも、この広報を通じて町民の意見を「新しい“町づくり”に資したい」と述べ、「住民主体の町づくり」の姿勢が見られます。



第 1 回町民体育祭

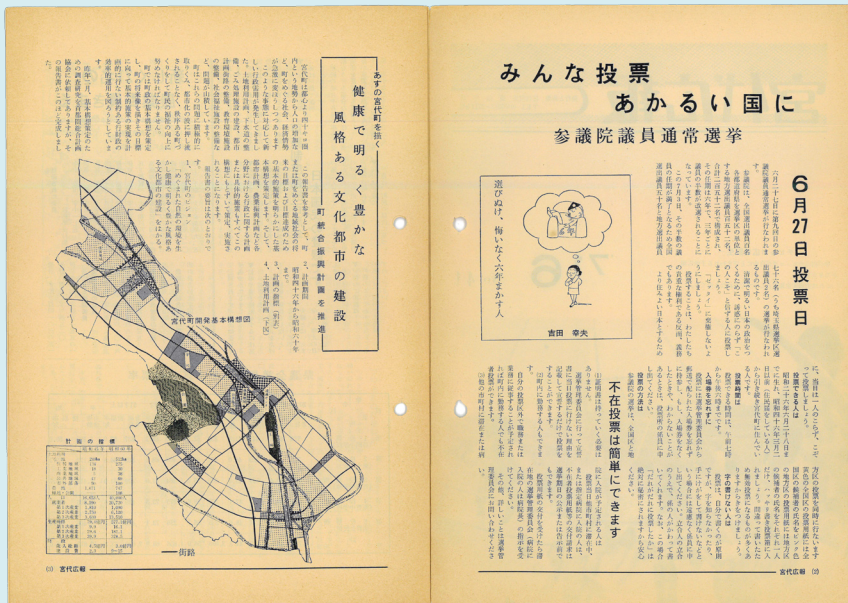
於：日本工業大学グラウンド

22. (記事) 完成した新庁舎

(南側から写す)

広報みやしろ第 004 号

昭和 35 年 (1960) 12 月 10 日



24. (記事) 町統合振興計画を推進

広報みやしろ第 041 号

昭和 46 年 (1971) 6 月

広報の記事によると、昭和 46 年から昭和 60 年までの 15 年間の計画期間で、基本構想としての「町統合振興計画を推進」するとしていますが、町宮代町初の総合計画は、昭和 56 年度からの第 1 次基本計画となります。

町のビジョンとして「めぐまれた自然の環境を生かし健康で明るく豊かな風格ある文化都市の建設」とありますが、これは基本理念として現在にも引き継がれており、現在の総合計画にも通じるものがあります。



26. (表紙) 建設中の日本工業大学

広報みやしろ第 030 号

昭和 42 年 (1967) 4 月 1 日



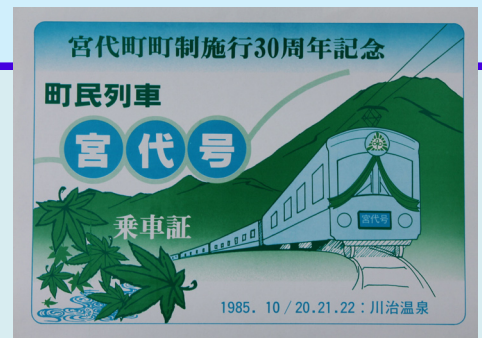
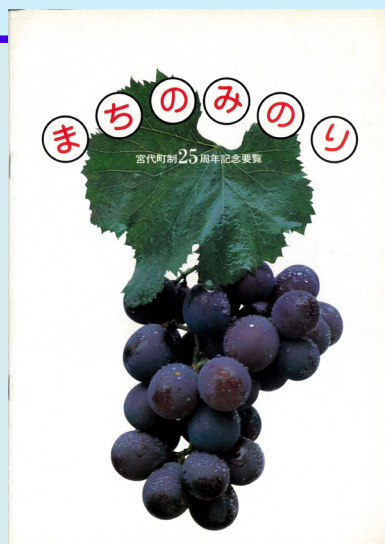
31. 空から見た宮代姫宮団地 (チラシ)

町史資料

昭和 53 年 (1978) 頃

町制施行 25 周年を迎えた昭和 55 年 2 月、町のシンボルとしてコミュニティセンター進修館が完成しました。翌年 3 月には東武動物公園が開園し、地下鉄が直通で乗り入れるなど、利便性が向上しました。同年 4 月には笠原小学校が開校、ユニークな校舎や教育方針で知られています。同 57 年には町のシンボルマークである町章・町旗が決まり、町制施行 30 周年を迎えた昭和 60 年 7 月には「宮代の歌」と「宮代音頭」が、11 月には「宮代町民憲章」、町の木「シイガシ」・町の花「ハクモクレン」が制定された他、さまざまな記念事業が行われました。

生活基盤施設としては、消防署（現 埼玉東部消防組合消防局宮代消防署）や保健センターなどが設置され、宮東橋や万願寺橋などの橋梁整備が行われました。公共下水道整備が始まり、都市計画道路が決定しました。学校給食が平成 2 年 4 月から小学校において始まり、中学校では平成 5 年 4 月から始まりました。



昭和 55 年 (1980) 12 月

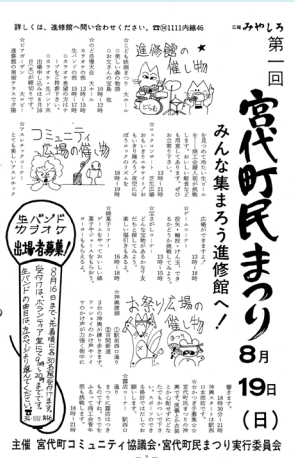
[illegible]

町制施行 25 周年記念
する要覧です。この 25
年で、人口は合併当時の
約 1 万人から、3 万人に
手が届きそうな程に増加
しています。着々と生活
を支える施設が建されて
いっている様子もうかが
えます。



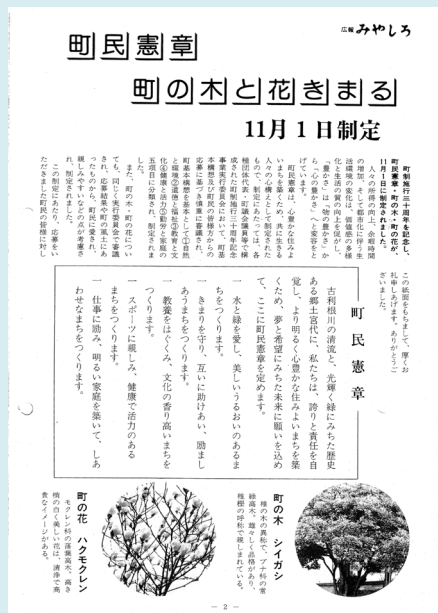
54. (記事)百間中学校サッカー部堂々の全国第3位・よくやった！百間中サッカー部
広報みやしろ第099号
昭和55年(1980)10月1日

百間中学校サッカー部が全国大会で3位になるという快挙もありました。こうした、学校のクラブ活動での活動記録や結果、関係資料は後世に残し伝えたいものです。



60. (記事)第1回町民まつり
広報みやしろ第145号
昭和59年(1984)8月1日

61. (記事)まちのシンボル町章誕生
広報みやしろ第116号
昭和57年(1982)3月1日



63. (記事)町民憲章・町の木・花きまる
広報みやしろ第160号
昭和60年(1985)11月1日



65. (チラシ)町民列車 川治温泉の旅
広報みやしろ第157号附録
昭和60年(1985)8月



66. 水と緑のまち宮代
町史資料
昭和60年(1985)11月

* 農のあるまちづくり～第3次総合計画～ *

宮代町の誕生から50年が過ぎ、まちづくりを取り巻く環境は大きく変化しました。求められる政策・施策は「量的な要請」から豊かさに対する「質的な充実」に移行していきました。複雑・多様化する住民ニーズに対し、それまでの「まちづくり」＝「行政」という考え方を一新し、自助（自分でできること）・共助（共に助け合ってできること）・公助（行政がおこなうこと）という、行政と住民とが対等なパートナーシップを構築していくという新しい考え方に移行し、第3次総合計画が策定されました。期間は平成13年度から同22年度までで、まちづくりの創造理念として「農のあるまちづくり」を、将来都市像としては引き続き「水面に映える文化都市」としました。

平成12年には多くの市町村が「平成の大合併」を行いました。平成13年3月には「埼玉県市町村合併推進要綱」が制定され、宮代町は岩槻市、春日部市、杉戸町、庄和町の2市3町で合併する案が示されました。その後、岩槻市がさいたま市との合併協議を始めたことや、さまざまなアンケート調査などの結果、平成15年4月に宮代町、春日部市、杉戸町、庄和町の1市3町による法定合併協議会が設置されました。しかし、平成16年7月11日に行われた住民投票で、宮代町における反対票が59%を占めたことで、この協議会は解散となり、宮代町は単独で行政を運営していくこととなりました。平成20年には、春日部市・宮代町・杉戸町による合併研究会が発足するものの、翌21年5月に杉戸町で行われた合併に関する住民投票において、合併反対という結果が出たことから合併研究会は解散となり、再び単独行政の道へと歩みを進めることになりました。

こうしたなか、平成17年2月には支所として設計が進んでいた3代目庁舎がオープン、また、2代目の庁舎があったところには、コミュニティセンター進修館建設時の設計にあった庭が整備され、宮代町の新しい顔として、平成20年7月に「四季の丘」の名でオープンしました。



70. 宮代町総合計画 ダイジェスト版

町史資料

平成3年（1991）12月

都市計画道路

駅前広場計画決定



住みよい環境づくりをめざして

都市計画道路は、市域の交通の便を高め、生活環境の向上に大きく貢献しています。本計画では、市域の交通網をより一層充実させ、住みよい環境づくりをめざして、都市計画道路の整備を進めます。

本計画では、市域の交通網をより一層充実させ、住みよい環境づくりをめざして、都市計画道路の整備を進めます。

計画決定にあたって

都市計画道路の整備は、市域の交通の便を高め、生活環境の向上に大きく貢献しています。本計画では、市域の交通網をより一層充実させ、住みよい環境づくりをめざして、都市計画道路の整備を進めます。

本計画では、市域の交通網をより一層充実させ、住みよい環境づくりをめざして、都市計画道路の整備を進めます。

69. (記事) 都市計画道路駅前広場決定

広報みやしろ第209号

平成元年（1989）12月1日

＊みどり輝くコンパクトシティ～第４次総合計画～＊

第４次総合計画は、平成２３年度から３２年度を計画期間とし、人口減少や超高齢社会に対応し、多様な主体により公共が運営されていくという、宮代らしさを引き継いだ計画として策定されました。将来都市像は「みどり輝くコンパクトシティ」。この計画の策定にあたっては、平成２２年２月に住民意識調査を行い、５月にはまちづくりワークショップが開催されるなど、計画の策定段階から住民の声を生かす試みが行われました。

平成１１年に計画決定された、道仏地区土地区画整理事業が終わりを迎えようとしていたのがこの頃で、平成２５年１２月に当地内の都市計画道路「宮代通り線」が開通しました。この区画整理事業は、宮代町では実に２０年ぶりとなる大型住宅団地の開発となりました。

東武動物公園駅の西口周辺地区は、第１次総合計画実施中の昭和５７年当時からのぎわいづくりが必要であるとされていた地区で、平成１６年に東武鉄道杉戸工場が南栗橋車両管理区に統合されたのち解体撤去された跡地に、平成２７年２月、西口駅前広場が完成しました。令和２年には商業施設の建設が始まり、翌３年９月にオープン、宮代町の新しい顔が加わりました。平成２９年８月には駅の反対側である東口駅前広場整備事業が開始され、交通の円滑化や安全対策、災害時の延焼抑制、無電柱化などを図り中心市街地の活性化と駅前の拠点づくりなどを目指し整備が進められています。



東武動物公園駅上空から山崎・逆井方面を臨む

撮影：宮代町

令和２年（２０２０）９月５日

* 首都圏でいちばん人が輝く町～第 5 次総合計画～*

令和 3 年度から 12 年度を期間とし、今まさに折り返し地点の年度となっているのがこの第 5 次総合計画です。この計画に策定にあたっては、「宮代町の 10 年後を話し合うワークショップ」や「町長とちやぶ台トーク」が開催され、地域課題や町の魅力などについての対話が重ねられ、計画に反映されています。

第 5 次総合計画策定前に当たる令和元年末からは、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が occurred。その危機的状況は記憶に新しいところです。顔を合わせて表情をうかがい、会話をしながらといった交流が行えない環境の中で、行政が行えることの少なさや扱える範囲の狭さを痛感するとともに、困難に対峙した時に結局は人のつながりが大切で、心強いものであると痛感された方も少なくなかったのではないのでしょうか。

人口減少や超高齢化、財政状況の低迷等、町が抱える問題には特効薬となる政策や施策はありません。これらに向き合い、対話を重ね行動していくことによって、未来に向けた改善を図ることができ、そのための行動の一つが総合計画としてまとめられたものです。

宮代町のこれまでのあゆみを振り返れば、そこには必ず住民の皆さんの姿があり、まちづくりの主演でした。それはこれから先の未来でも変わることはないでしょう。

第 5 次宮代町総合計画

令和 3 年度～令和 12 年度
(前期実行計画 令和 3 年度～令和 7 年度)



75. 第 5 次総合計画

町史資料

令和 3 年 (2021) 3 月

76. 道仏地区現況写真

宮代町行政文書

平成 5 年 (1993)



77. 道仏地区現況写真

宮代町行政文書

平成 25 年 (2013) 1 月



78. 道仏地区空中写真

提供：国土地理院

令和元年 (2019) 9 月 10 日

年表（平成 26 年～令和 6 年）

平成 26 年以前の年表は、平成 27 年度企画展「宮代町 60 年のあゆみ」をご参照ください。

年号	西暦	月	できごと
平成 26 年	(2014)	5	東武動物公園駅「新西口」供用開始。
平成 27 年	(2015)	2	東武動物公園駅西口の駅前広場の完成。
		6	新しい子育て支援施設「きしゃぼっぽ」のオープン。
		7	町制施行 60 周年。
		12	イルミネーション点灯式でお披露目、60 周年記念の新たな歌「雲の果てに」。
平成 28 年	(2016)	3	和戸駅のバリアフリー化（エレベーター・多目的トイレ設置）が完成。
			町公式プロモーションビデオが完成。
		9	防災行政無線のデジタル化整備工事を開始。
		12	小学校（1 年生教室、音楽室）エアコン設置。町公式ホームページをリニューアル。
平成 29 年	(2017)	2	中学校（3 年生教室、音楽室）エアコン設置。
		3	「みやしろ郷土かるた」を全面改訂、「新みやしろ郷土かるた」が完成。
		4	定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」に子育て・仕事情報サイトを新設。
		8	東武動物公園駅東口駅前広場整備事業の開始。「宮代町こども議会」を開催。
平成 30 年	(2018)	1	道仏土地区画整理事業区域内の住居表示を変更。
		2	住民との対話を目的とした地区懇談会がスタート。
		3	小中学校（全普通教室）エアコン設置。
		4	みやしろ健康マイレージをスタート。町内循環バスがリニューアルスタート。
		6	宮代町新水道ビジョンを策定。
		10	将来の宮代町を町民の皆さんと話す「町長とチャプ台トーク」を開催。
		11	町民の皆さんと「宮代町の 10 年後を話し合うワークショップ」を開催。
令和元年	(2019)	6	宮代町の 10 年後を話し合うワークショップ 2019 を開催。
		9	続宮代町の 10 年後を話し合うワークショップ（町民と町職員ワークショップ）を開催。
		10	みやしろ産業祭が 30 周年を迎える。
令和 2 年	(2020)	1	広報みやしろをフルカラータブロイド版にリニューアル。
		3	道仏地区土地区画整理組合解散。
		4	百間小学校のすべり台が国の登録有形文化財に登録される。
			コミュニティセンター進修館が開館 40 周年を迎える。
		6	東武動物公園駅西口に商業施設の建設工事がスタート
		10	令和 3 年から 10 年間のまちづくり計画「宮代町第 5 次総合計画」が可決成立。
令和 3 年	(2021)	1	東武動物公園で初の野外成人式開催。
		4	宮代町都市計画マスタープラン（2021－2040）策定。
		5	旧ふれ愛センターをリノベーションした「福祉交流館すてっぷ宮代」がオープン。
		7	東京 2020 オリンピック聖火リレーが杉戸・宮代区間を通過。
		9	東武動物公園駅西口に商業施設がオープン。
令和 4 年	(2022)	4	教育支援センター「みらい」開設。
		5	小中学校適正配置説明会を町内 4 か所で開催。
		8	町民まつりが 3 年ぶりに開催。
		10	ぐるる宮代でスポーツフェスティバル開催。
		12	和戸横町地区に物流施設が開設。
令和 5 年	(2023)	2	みやしろ一かるたバッジが好評、特徴的な公共施設や事業など町の魅力を PR。
		4	町内循環バスがリニューアルにより利便性向上。
		6	地域の拠点として多機能化へ、須賀小学校地域拠点施設基本構想策定。
令和 6 年	(2024)	4	須賀小学校地域拠点施設の整備に向けた基本計画の策定、基本設計の開始。
		11	「LINE」での防災情報の提供。

展示資料一覧

	資料群名	資料番号	表題等	年代
1	提供：国土地理院		昭和 22 年の宮代町域	昭 和 22 年 2 月 8 日 (1947)
2	宮代町行政文書		宮代町航空写真	平 成 6 年 2 月 23 日 (1994)
3	宮代町行政文書		宮代町航空写真	平成 20 年 12 月 29 日 (2008)
4	宮代町行政文書		宮代町航空写真	平成 26 年 12 月 27 日 (2014)
5	宮代町行政文書		宮代町航空写真	令和元年 12 月 27 日 (2019)
6	宮代町行政文書		須賀村全図（複製）1/12,000	昭和 28 年 10 月 1 日 (1953)
7	宮代町行政文書		百間村全図（複製）1/10,000	昭和 20 年代
8	島村（正）家文書	No.43-1	須賀村町村合併推進協議会委員に推薦の件につき	昭和 29 年 5 月 26 日 (1954)
9	島村（正）家文書	No.43-2	委員会開催について	昭和 29 年 5 月 26 日 (1954)
10	島村（正）家文書	No.43-4	部落区長打合会（町村合併資料）	昭和 29 年 5 月 26 日 (1954)
11	折原（静）家文書	No.1842	一町六ヶ村合併促進趣意書	(昭和 29 年)9 月 10 日 (1954)
12	島村（正）家文書	No.24	町村合併推進協議会開催につき通知	昭 和 30 年 3 月 8 日 (1955)
13	宮代町行政文書		永久資料 新町合併協議会 百間須賀合併	昭和 30 年 5 月 16 日 (1955)
14	渋谷氏所蔵		須賀村最後の日	昭和 30 年 7 月 20 日 (1955)
15	折原（静）家文書	No.1962	挨拶状（須賀村との合併）	昭 和 30 年 7 月 (1955)
16	折原（静）家文書	No.1968	宮代町の概況〈原本：常設展示室〉	昭和 30 年 7 月 20 日 (1955)
17	民具登録	No.1566-5	宮代町合併記念 盃	昭 和 30 年 7 月 (1955)
18	宮代町行政文書		昭和 30 年 7 月 20 日召集 宮代町議会第 1 回臨時会議案	昭和 30 年 7 月 20 日 (1955)
19	宮代町行政文書		自昭和三十年 告示原義 議会	昭和 30 年～
20	宮代町行政文書		昭和 35 年度～昭和 39 年度 宮代町新町建設計画実施計画（案）	昭和 35 年～ 39 年 (1955～1964)
21	広報みやしろ	No.001	広報「公民館」	昭 和 34 年 7 月 (1959)
22	広報みやしろ	No.004	(記事) 完成した新庁舎（南側から写す）	昭和 35 年 12 月 10 日 (1960)
23	広報みやしろ	No.015	(記事) 1963 年に拾う カメラメモ	昭和 38 年 12 月 10 日 (1963)
24	広報みやしろ	No.041	(記事) 町統合振興計画を推進	昭 和 46 年 6 月 (1971)
25	広報みやしろ	No.021	(記事) 実施区域の町名決る 4 月 1 日から実施	昭和 36 年 1 月 15 日 (1963)
26	広報みやしろ	No.030	(表紙) 建設中の日本工業大学	昭 和 42 年 4 月 1 日 (1967)
27	宮代町行政文書		昭和 45 年度 ひまわり学級	昭 和 45 年 9 月 ～ (1970)
28	広報みやしろ	No.031	(記事) 百間婦人学級「町長を囲んで町政を聞く」	昭 和 43 年 2 月 1 日 (1968)
29	広報みやしろ	No.039	(記事) 市街化区域および市街化調整区域 きまる～市街化区域と市街化調整区域図	昭 和 39 年 12 月 (1964)
30	広報みやしろ	No.061	(記事) 姫宮団地第 2 期分譲開始	昭和 51 年 12 月 1 日 (1976)
31	町史資料	No.1110	空から見た宮代姫宮団地（チラシ）（複製）	昭 和 53 年 頃 (1978)
32	提供：国土地理院		日本工業大学 昭和 36 年	昭 和 36 年 6 月 1 日 (1961)
33	提供：国土地理院		日本工業大学 昭和 43 年	昭和 43 年 8 月 22 日 (1968)
34	提供：国土地理院		日本工業大学 昭和 50 年	昭 和 50 年 1 月 6 日 (1975)
35	提供：国土地理院		日本工業大学 令和元年	令和元年 9 月 10 日 (2019)
36	提供：国土地理院		宮代台 昭和 23 年	昭 和 23 年 5 月 6 日 (1948)
37	提供：国土地理院		宮代台 昭和 43 年	昭和 43 年 8 月 22 日 (1968)
38	提供：国土地理院		宮代台 昭和 47 年	昭和 47 年 9 月 27 日 (1972)
39	提供：国土地理院		宮代台 令和元年	令和元年 9 月 10 日 (2019)
40	提供：国土地理院		学園台・本田 昭和 36 年	昭 和 36 年 6 月 1 日 (1961)
41	提供：国土地理院		学園台・本田 昭和 50 年	昭 和 50 年 1 月 6 日 (1975)
42	提供：国土地理院		学園台・本田 令和元年	令和元年 9 月 10 日 (2019)

展示資料一覧

	資料群名	資料番号	表題等	年代
43	提供：国土地理院		姫宮南北団地 昭和 23 年	昭和 23 年 12 月 4 日 (1948)
44	提供：国土地理院		姫宮南北団地 昭和 54 年	昭和 54 年 10 月 1 日 (1979)
45	提供：国土地理院		姫宮南北団地 令和元年	令和元年 9 月 10 日 (2019)
46	提供：国土地理院		桃山台 昭和 23 年	昭和 23 年 4 月 2 日 (1948)
47	提供：国土地理院		桃山台 昭和 50 年	昭和 50 年 1 月 6 日 (1957)
48	提供：国土地理院		桃山台 令和元年	令和元年 9 月 10 日 (2019)
49	提供：国土地理院		東武動物公園駅周辺 昭和 24 年	昭和 24 年 1 月 20 日 (1949)
50	提供：国土地理院		東武動物公園駅周辺 昭和 55 年	昭和 55 年 10 月 22 日 (1980)
51	提供：国土地理院		東武動物公園駅周辺 令和元年	令和元年 9 月 10 日 (2019)
52	広報みやしろ	No.095	(記事) 進修館開館記念	昭和 55 年 6 月 1 日 (1980)
53	町史資料	No.1335	まちのみのり 宮代町制 25 周年記念要覧	昭和 55 年 12 月 (1980)
54	広報みやしろ	No.099	(記事) 百間中学校サッカー部堂々の全国 第 3 位・よくやった！百間中サッカー部	昭和 55 年 10 月 1 日 (1980)
55	広報みやしろ	No.141	(記事) 消防署・業務開始	昭和 59 年 4 月 1 日 (1984)
56	広報みやしろ	No.153	(記事) 保健センター業務開始	昭和 60 年 4 月 1 日 (1985)
57	宮代町行政文書		進修館建設前写真	昭和 54 年 4 月 (1979)
58	宮代町行政文書		進修館建設後写真	昭和 56 年 10 月 23 日 (1981)
59	宮代町行政文書		役場と進修館	昭和 56 年 10 月 23 日 (1981)
60	広報みやしろ	No.098	(記事) もう一度のチャンス 町章募集	昭和 55 年 9 月 1 日 (1980)
61	広報みやしろ	No.116	(記事) まちのシンボル町章誕生	昭和 57 年 3 月 1 日 (1982)
62	広報みやしろ	No.145	(記事) 第 1 回町民まつり	昭和 59 年 8 月 1 日 (1984)
63	広報みやしろ	No.160	(記事) 町民憲章・町の木・花きまる	昭和 60 年 11 月 1 日 (1985)
64	広報みやしろ	No.157	(記事) 町制施行 30 周年・水と緑の町づくり	昭和 60 年 8 月 1 日 (1985)
65	(広報みやしろ)	No.157 附録	町民列車 川治温泉の旅	昭和 60 年 8 月 (1985)
66	町史資料	No.0140	水と緑のまち宮代	昭和 60 年 11 月 (1985)
67	町史資料	No.1048	くらしのガイド 町制 30 周年記念	昭和 60 年 11 月 (1985)
68	町史資料	No.1377	宮代町住民意識調査結果報告書	平成元年 (1989)
69	広報みやしろ	No.209	(記事) 都市計画道路駅前広場計画決定	平成元年 12 月 1 日 (1989)
70	町史資料	No.2710	宮代町総合計画 ダイジェスト版	平成 3 年 12 月 (1991)
71	町史資料	No.0452	第 3 次宮代町総合計画	平成 13 年 3 月 (2001)
72	町史資料	No.0824	東武動物公園駅西口周辺地区 まちづくり フォーラム	平成 9 年 11 月 8 日 (1997)
73	町史資料	No.1260	宮代町町制施行 50 周年記念	平成 17 年 7 月 20 日 (2005)
74	町史資料	No.1971	第 4 次宮代町総合計画 後期実行計画 平成 28 年度～ 32 年度	平成 28 年 3 月 (2016)
75	町史資料	No.2501	第 5 次宮代町総合計画	令和 3 年 3 月 (2021)
76	宮代町行政文書		道仏地区現況写真	平成 5 年 (1993)
77	宮代町行政文書		道仏地区現況写真	平成 25 年 1 月 (2013)
78	提供：国土地理院		道仏地区空中写真	令和元年 9 月 10 日 (2019)



東武動物公園・新しい村を手前に日本工業大学・宮代町役場・東武動物公園駅を臨む

令和元年(2019)9月10日撮影

宮代町郷土資料館

〒345-0817 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原 289 番地

TEL 0480-34-8882 FAX 0480-32-5601

HP <https://www.town.miyashiro.lg.jp>

Email museum@town.miyashiro.saitama.jp